

5月15日（月）交通事故防止

11日から春の全国交通安全運動が始まりました。いろいろな場所で、たくさんの方が子供たちが交通事故にあわないように、見守ってくれています。



さて、歩いている小学生が巻き込まれた交通事故の多くが、道路を横断中に起きているそうです。

去年までの5年間に交通事故で死亡または重傷を負った児童3324人のうち、2135人は歩行中に事故に巻き込まれていました。このうち、1639人が道路を横断中に事故にあいました。572人は横断歩道を渡っていた時に事故にあったということです。

また、子供の事故は6月にかけて増えていくということです。皆さんも気をつけてください。

もう一つお願いです。皆さんを見守って下さる方へのあいさつ、止まってくれた車へのあいさつを忘れないようにしてください。気持ち良いあいさつは「ありがとうございます」という感謝の言葉の代わりにもなります。

村越 新